

長寿生活支援ロボット開発センター

高齢者への医療生活支援に関する具体的成果を前提とした研究センター

開発・導入コンセプト、参画メンバーと成果の均霑化

開発コンセプト

高齢者の健康長寿を支援する上で、医療・介護・生活の3つの側面の全てを対象に

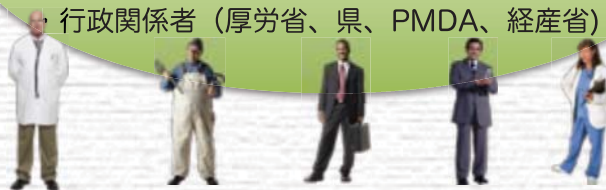
- ・練習
- ・介助
- ・自立
- ・達成感

などをコンセプトとして開発・導入を図る



参画メンバー

- ・医師（リハ医・整形外科医など）
- ・リハ関係者（理学療法士、義肢装具士等）
- ・エンジニア
- ・開発企業
- ・行政関係者（厚労省、県、PMDA、経産省）



実用品としての展示

- ・リハビリテーションの場での使用
- ・高齢者向けのスマートハウス



最終目標

最初のステップは・・・

バランス訓練ロボット

- ・バランス訓練ロボット
 - ・歩行訓練ロボット
 - ・上肢訓練ロボット
- など、まず臨床導入段階まで。完成度が高められている製品の導入を促進する



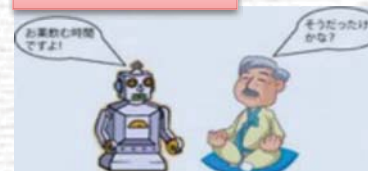
歩行訓練ロボット



標準規格制定などの政策的な提言機能を担う

- ・次に続くロボットの開発導入を進め
- ・安全性や標準規格の制定に向け、ロボット使用のための安全基準およびガイドライン、さらには法的なシステムの整備を提言

傾聴ロボット



杖ロボット



目標達成